

観光施設が集まる沿岸部から津波避難ルートを確認

— 災害に強い県土づくりに向けた駅前海岸線(大洗町)の整備 H28.11 開通 —

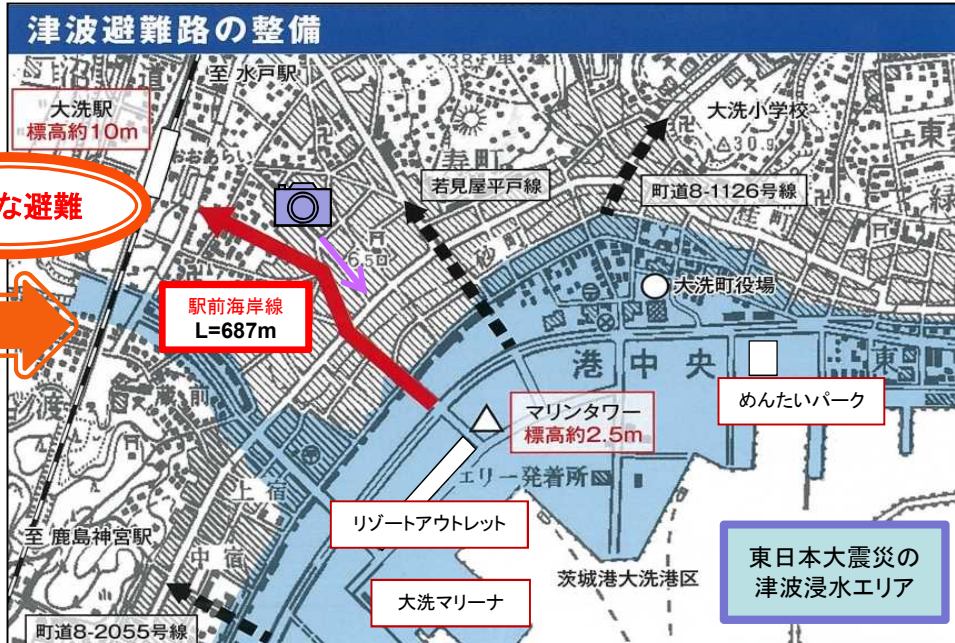
東日本大震災の状況(平成23年3月11日)



大洗港区に発生した巨大な渦



役場周辺に押し寄せた津波



早急な避難

駅前海岸線
L=687m

マリントワー
標高約2.5m

めんたいパーク

東日本大震災の
津波浸水エリア

住民や観光客約1.2万人を、避難開始から約18分※1で大洗駅まで避難誘導することが可能に！

※1 道路の歩道及び車道を時速2.3km ※2(徒歩)で避難する場合(東日本大震災では地震発生から29分後に津波を観測)

※2 国土交通省の「津波からの避難実態調査結果」から引用



マリントワー

大洗駅

津波被害を受けた地元の協力もあり、震災からわずか5年8ヶ月で開通



整備前

歩道が無く狭隘な道路



整備後

十分な広さの歩道と街路灯を整備

生活道路としての利便性向上、観光振興や中心市街地の活性化にも寄与！

○ 住民の声

- ・ 広い歩道が整備され、歩きやすくなった。
- ・ 夜間でも明るく、安心して歩けるようになった。
- ・ 復興のシンボルロードとして発展してほしい。

○ 観光客の声

- ・ 駅から歩くと、マリントワーやフェリーが一望でき、沿岸部の観光施設へ行きやすくなった。
- ・ 今後、賑わいのある沿道となるのが楽しみ。